

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年12月17日更新

事務事業名		環境保全型農業直接支払事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	村上 淳二
	基本事業	33	経営力の強化・生産品の価格安定			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目		会計一般	款6	項1	目5	事業連番	11584	法令根拠	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑧
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地球温暖化防止を目的とした農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や、生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援を行う。 ※負担割合 国1/2、県1/4、市1/4
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	農業者等からの実施計画書及び交付申請の受付⇒実施状況報告の受付、県へ実施状況報告の提出⇒市が農業者へ実施確認⇒国及び県へ確認結果の報告⇒県からの交付金と市からの交付金を合わせて農業者等へ支払い
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	意見・要望等はとくになし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
環境保全型農業直接支払交付金の交付	環境保全型農業直接支払交付金の交付
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
⇒ア: 交付金交付件数	件 申請者の増加及び取組面積の拡大による補助金の増。
⇒イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
エコファーマー及び有機JAS認定者	(単位) 件
	⇒ア: エコファーマー及び有機農業者件数
	⇒イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
事業の対象となる農地の面積を拡大する	(単位) ha
	⇒ア: 農地面積
	⇒イ:
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
有機農業をされている方も少なく、また、エコファーマーでも補助要件を満たしている方は少ないが、事業の趣旨を理解され、取り組まれる方が増えると考え1.5haの増とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
①活動指標	ア	件		1	3	1	3	3	3	3	
	イ										
②対象指標	ア	件		47	47	50	47	47	47	47	
	イ										
③成果指標	ア	ha		0.74	1.5	2.26	1.5	2	2	2	
	イ										
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円			32	45	78	60	60	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円			31	45	79	60	60	60
		(A)事業費計	千円		0	63	90	157	120	120	120
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0
	(B)人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人		4	1	3	1	1	1	1
延べ業務時間		時間		60	15	60	18	21	21	21	
(B)人件費計	千円		244	61	239	73	85	85	85		
トータルコスト(A)+(B)	千円		244	124	329	230	205	205	205		

事務事業名	環境保全型農業直接支払事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 農地面積拡大により達成につながった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 順調に作付け、生育すれば達成の見込みはある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 有機農業を行う人などが増えれば成果向上の余地あり。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 統廃合はできないだろうが、市の有機質肥料促進事業や土壌診断助成事業との連携の可能性はある。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 有機農業、エコファーマーなどを行っている全ての方が対象。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付事務のため適正である。

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

有機農業をされている方が少なく、また、エコファーマーでも条件が厳しいため申請者数が少なかった。今後、有機農業をされる方を増やすための取り組みや、JAとの連携が必要。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					